

「交通安全について自ら考え行動する力の育成」

令和5年度 高知県学校安全総合支援事業（交通安全）

高知県教育委員会 拠点校 高知県立高知工業高等学校

拠点校の取組

（1）拠点校の目標

安全教育推進事業（交通安全）取組組織を構築し、交通安全教育の必要性の浸透を図り、生徒自ら考えて行動する意識の向上を図る。今回の指定校の取組を学校全体で共有し、生徒たちが交通安全について自ら学び、考える力を育成する。

本校の中心的な取組であるイノベーション KT の目標でもある「自ら力」の育成にも繋がる取組とし、ヘルメットの着用の必要性や所持率、着用率の向上及び登下校時の事故の減少を目指す。

＜背景・課題＞

本校は、高知市中南部に位置し、生徒は様々な方面から自転車を利用して通学をしている。自動車の交通量や歩行者も多く、被害者にも、加害者にもなるリスクが高い地域といえる。また、資格試験対策や進学補修、部活動等も活発で、暗くなってからの下校をする生徒も少なくない。

本校は定時制も併設しており、荷物を教室に置くことができず、大量の学習用具や部活動用具を持って自転車で通う生徒が多く、転倒する生徒も少なくない。今のところ大きな事故には繋がっていないが、何時大きな事故が発生してもおかしくない状況となっている。

生徒の安全な通学環境を整える意味でも、生徒用のロッカーの設置など、学校としても対策を考えていく必要があるが、身を守るヘルメットの着用の推進を進めていくことも大きな課題となっている。

（2）具体的な取組

○生徒会・各クラス交通安全委員の交通安全啓発活動

本校の生徒会は、これまで月に1・2回の朝の挨拶運動を行ってきており、交通安全の取組にも活用した。また、街頭指導や交通安全ワークショップ、2学期からの交通安全呼びかけ活動では、各クラスの交通安全委員も活動に参加した。

○生徒会・教職員・高知南警察署・交通安全協会・地域の方々による合同啓発活動

【日時】5月12日（金）7:50～8:20

交通安全に関するのぼり旗を持って、棧橋三丁目交差点付近にて実施した。



○先進的な取組「みやぎ高校生サイクルサミット2023」の視察

【日時】令和5年8月3日（木）13:00～15:45

【場所】東北工業大学

今年で15回目を迎え、今回は、宮城県内から高校生約60人が集まり、グループを組んで、『高校生のクリエイティブな発想で、安全な社会をつくろう』～ヘルメットの着用促進と自転



車事故防止に向けた啓発メッセージの考案～」をテーマに、2時間でグループワーク・発表を行った。短時間で非常に効率的に成果が得られるような運用ができており、よく練られた取組であった。8月7日（月）に本校で開催予定であった交通安全ワークショップにとっても、全体の流れや運営等で大変参考になる大会で、多くの学びがあった。

また、本校での交通安全ワークショップの講師としてお迎えする小川和久教授と打ち合わせを行うことができ、当日の流れや準備を明確にすることができた。

○「高知工業高校 交通安全ワークショップ」の開催

【日時】9月7日（木）16:00～17:00

8月7日（月）に、東北工業大学 小川和久教授を講師にお迎えし、県内5校の代表者12名と高知県警察本部、学校安全対策課の関係機関をお招きして実施する予定であったが、台風により残念ながら中止となった。



代わって、9月7日（木）に、本校で、生徒会、各クラスの交通安全委員、県の学校安全対策課から2名をお招きして実施した。1学期末のアンケート結果をもとに課題を把握し、「なぜ自転車ヘルメットをかぶらないのか」や「どうすればかぶるようになるのか」などについてグループ討議を行い、それぞれのグループから活発な意見が出された。主な意見としては、

- ①「交通事故の怖さを知る」
- ②「ヘルメットのデザインをよくする」
- ③「我々が着用して見せる」
- ④「学校で販売する」
- ⑤「ヘルメットを配付する」



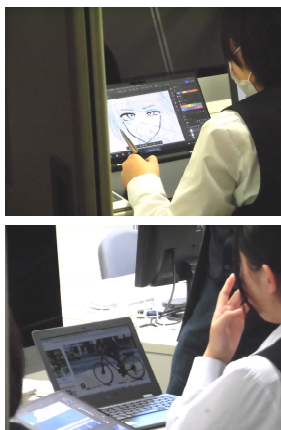
などが出された。話し合った内容は各交通安全委員がホームに持ち帰り、報告した。

①の意見については、11月8日（水）5・6限目の本校グラウンドで行われた高知県警察本部交通企画課・高知南警察署交通課と株式会社ワーサルのスタントマンによる交通事故の実技（スタント）等の「スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室」の開催に繋がった。また、②と③の意見は、デザインの良い自転車ヘルメットや野球帽型、つばのある帽子型などの自転車ヘルメットを生徒会メンバーが購入し、それを被って校門や街頭に立つ啓発活動に繋がった。



○「自転車ヘルメット着用推進ポスター」デザインの作成

総合デザイン科の2年生11名が、県が行っている自転車ヘルメット着用推進事業のポスターデザインを作成した。全11作品のうち1作品は、令和6年度自転車ヘルメット着用推進ポスターに使われ、県下に配布される予定である。



○自転車ヘルメット着用合同啓発活動

【日時】11月7日（火）16:00～16:30

本校生徒会と1・2年生各クラスの交通安全委員、県の県民生活課、学校安全対策課、高知南警察署と合同で、棧橋三丁目交差点にて自転車ヘルメット着用の啓発活動を行った。9月に行ったワークショップで出ていた②や③の意見を反映し、デザインの良い自転車ヘルメットを生徒会メンバーが被って街頭に立ち、ヘルメットを被っていない方一人一人に啓発グッズを渡すとともに、ヘルメットを被っていただけるよう声かけを行った。この活動の様子は、11月19日のRKC「おはようこうち」で紹介された。



○「スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室」の開催

【日時】11月8日（水）5・6限目

本校グラウンドで、高知県警察本部・高知南警察署と株式会社ワーサルのスタントマンによる交通事故の実技（スタント）等の「スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室」に参加した。自動車と自転車が接触する場面では思わず目を背けたくなるような迫真の演技で、生徒は事故の恐怖を知り、交通安全に対する意識向上に繋がる取組となった。

また、生徒会は、自転車ヘルメット所持率向上に向け、デザインの良い自転車ヘルメットを購入し、安全教室の最後にそれぞれがヘルメットを被って登場し、啓発活動を行った。



○交通安全街頭指導及び生徒会による交通安全呼びかけ活動

【日時】12月20日（水）8:00～8:30

生徒会・交通安全委員、教職員による「交通安全」「命を守るヘルメット」等ののぼり旗を立て啓発活動を行った。

交通安全委員は棧橋三丁目交差点に立ち、生徒会メンバーは購入した自転車ヘルメットを被って正門前に立ち、自転車ヘルメット着用を呼びかけた。



○交通安全合同啓発活動

【日時】令和6年1月15日（月）16:40～17:10

棧橋三丁目交差点付近にて、総合デザイン科の2年生10名と生徒会、教職員、高知南警察署、学校安全対策課による自転車ヘルメット着用合同啓発活動及び自動車ドライバーへの交通安全を呼びかける活動を行った。



総合デザイン科では、廃棄される竹刀を削ってツボ押しグッズを製作し、手の甲にある眠気を覚ますツボの位置の図とともに交通安全メッセージを付けて自動車ドライバーに配布した。



11月に行われた自転車ヘルメット着用啓発活動に引き続き参加した生徒会の生徒からは、「正直、前回の啓発活動の時には自転車ヘルメットを被っていなかったけど、自分が被っていないと啓発活動に説得力がなくなるので、自転車ヘルメットを被るようになりました」という声が挙がっていた。



○交通安全アンケート

1学期末の7月14日に交通安全アンケートを実施し、1学期の現状と課題を把握し、2学期の取組改善に生かした。また、3学期当初の1月9日に実施し、成果と課題を分析し、取組の振り返りを行った。

(3) 取組における成果と課題

【成果】

この事業に取り組むことで、決して強制ではなく、生徒一人一人が交通安全について自ら考え行動できる力の育成を目指し、上記の主な取組を行ってきた。

1月9日のアンケートにおいて、「各クラスの交通安全委員、生徒会等の交通安全の取組や『スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室』を見学して、あなたの交通安全意識は向上しましたか。」の問いに対して、88.1%の生徒が向上したと答えた。

また、「交通安全について、『自分の体は自分で守る』の考えのもと、あなたは自ら考えて行動するようになりましたか。」と問いに対しては、96.2%の生徒がそうなったと答えており、一定の成果は見いだせた。

【課題】

本校の自転車を利用して通学する生徒の総数は4月の段階で744名であり、自転車通学生のヘルメットの着用数は4月調べで1年生39名、2年生11名、3年生11名の61名、全体の8.2%となっていた。1学期末のアンケートでは、1年生50名、2年生16名、3年生21名の87名、全体の11.3%へと微増にとどまった。所有率も23.2%と高い状況で、両方とも1月9日のアンケートでも数値は伸びなかった。

要因としては、これまでに着用する習慣がないことやヘルメットのデザインが良くないことなどが大きな要因と9月に実施したワークショップで意見として挙げられていた。2学期に入って、生徒会もデザイン性のあるヘルメットを被って啓発活動を行ったが、時間的に短く、また購買意欲を刺激するまでには至っていなかったと考えられる。自ら考え自発的にヘルメットを被りたくなるような取組を検討する必要がある。

(4) 今後の取組

本校は、新入生合格者登校日にPTAが業者を招いて自転車ヘルメットの予約販売を行っている。この取組をさらに周知し、来年の新入生のヘルメット着用率を高めつつ、在校生には引き続き各クラスの交通安全委員、生徒会、PTA、高知南警察署等と連携し、粘り強くヘルメット着用の啓発活動を続けていく。